

公益社団法人 大阪府臨床検査技師会
平成 28 年度第 11 回（2 月）理事会 議事録

- ◇ 日 時： 平成 29 年 2 月 9 日（水）午後 7 時 00 分～9 時 00 分
- ◇ 会 場： 公益社団法人 大阪府臨床検査技師会事務所
- ◇ 出席者： 竹浦、吉本、高田、田畑、井戸田、酒井、清水、出野、山田、山西、杉山、増田、久保田、上田、梶、井口、岡本、安保、柴監事、荒木監事、事務（出口）
- ◇ 欠席者： なし
- ◇ 議 長： 竹浦

【 討議内容 】

I. 行動報告（1 月分）

別紙参照

II. 経過報告

1. 日臨技

日臨技理事会（1 月 27 日開催）報告

- ・「白血球目視分類の共用基準範囲案」に賛同した。
- ・検体採取講習会の開催状況：累計 119 開催会場における修了者は 31,191 名（12 月 28 日時点）。
- ・検体採取講習会のテキストを改定する。
- ・「日臨技 DVT 検診マニュアル Ver.1」を都道府県技師会に配布した。
- ・「災害時支援対策マニュアル第 1 版」を作成する。
- ・第 66 回医学検査学会にて病棟業務推進ミニシンポジウム企画を行う。
- ・中部圏支部輸血伝達講習会の赤字 14,194 円を補填した。
- ・事務局総務課長の川原氏の定年退職に伴い、李氏が同課長となった。

2. 事務局

〈総務部〉1 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・「年輪VI」の発行について検討した。
- ・賛助会員施設の臨床検査技師の取り扱いについて検討した。
- ・平成 29 年度賛助会員について検討した。
- ・大臨技ニュース 1 月号を発行した。
- ・大臨技ホームページを随時更新した。

〈会計部〉1 月 18 日（水）に部会を開催した。

- ・12 月度収支計算書を作成した。
- ・1 月分事務員給与を送金した。

〈渉外部〉1 月 17 日（火）に部会を開催した。

- ・大臨技・大放技合同フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・平成 28 年度がん検診フォーラムの進捗状況について説明を行った。
- ・献血推進活動の進捗状況について説明を行った。
- ・来年度事業について検討した。

3. 事業局

〈情報組織部〉1 月 20 日（金）に部会を開催した。

- ・技師長会（平成 29 年 2 月 18 日開催予定）の最終打合せを行った。
- ・「新人の集い」で映写する再現ビデオの撮影日等を決定した。

〈地区事業部〉1月19日（木）に部会を開催した。

- ・施設連絡者会について検討した。

日時：平成 29 年 3 月 18 日（土）14：00～16：30

場所：大阪市立住まい情報センター 3階ホール

内容：①AIについて（NEC 担当者） ②技師会報告（竹浦会長）

広報：①NEC 担当者決定後、大臨技ニュース 3月号に掲載する。

②施設連絡責任者宛にハガキを送付する（2月部会で最終確認後）。

終了後、意見交換会を行う。

〈学術部〉1月24日（火）に部会を開催した。

- ・理事会報告を行った。
- ・臨床化学検査部門と免疫検査部門を統合した際の新しい名称について検討した。
- ・平成 29 年度事業計画について、事業相互の日程重複を検証した。

Ⅲ. 報告事項

1. 立入検査について（竹浦会長）

- ・1月26日に行われた公益法人認定法に基づく立入検査の講評について報告があった。大阪府からの立入検査の結果は、後日、文書により通知される。

2. 「年輪VI」の発行について（酒井常務理事）

- ・「年輪VI」作成の進捗状況について説明があった。今年度中の発行に向けて作業を進めている。

3. 「平成 28 年度大臨技・大放技合同フォーラム」開催後報告について（増田理事）

- ・1月21日（土）に開催された平成 28 年度大臨技・大放技合同フォーラムについて報告があった。
- ・参加者は、大臨技 53 名、大放技 53 名、一般 14 名の計 120 名であった。

4. 「近畿チーム医療実践セミナー2016 大阪」開催後報告について（上田理事）

- ・1月22日（日）に開催された近畿チーム医療実践セミナー2016 大阪についての報告があった。
- ・糖尿病療養指導部門、NST・褥瘡部門、ICT の各部門の参加者及び世話人を合わせて 129 名の参加があった。

5. 平成 28 年度大臨技会長賞について（吉本副会長）

- ・関西医療大学、日本医療学院専門学校、大阪行岡医療専門学校長柄校、大阪医療技術学園専門学校の 4 校より推薦があり、卒業式時に大臨技会長賞表彰楯を授与する。

6. 平成 28 年度がん検診フォーラムについて（清水理事）

- ・3月11日（土）に開催する「がん検診フォーラム 2017」の進捗状況について報告があった。

7. その他

特になし。

Ⅳ. 議 題

1. 大臨技医学検査学会運営委員会について（増田理事）

- ・理事会に先立ち、浅田実行委員長より第 14 回実行委員会（2月2日開催）等の報告があった。

1. ホームページの更新ができていないので早急に行う。

2. 梶理事が作成した「がん検診フォーラム 2017」の広報動画を、会場での待ち時間にスライド投影する。

3. 抄録集、参加証兼領収証、スタッフの配置および進行、運営等について説明があった。
 - ・抄録集及び領収書兼参加証の見積書が提示され承認された。
抄録集一式（1,000部）：269,000円、領収書兼参加証（1,000部）：11,000円
 - ・体調不良のため当日参加できない実行委員の代理を決めた。
2. 来年度事業計画・予算案について（竹浦会長、杉山理事）
 - ・平成29年度事業計画案及び平成29年度予算案について説明があった。
 - ・平成29年度事業計画案について承認された。
 - ・予算案については、平成29年度予算収入39,711,000円（前年より909,000円減）、支出合計42,213,000（前年より1,593,000円増）、予算収入39,711,000－支出合計42,213,000＝2,502,000円の赤字予算で承認された。
 - ・過年度の黒字決算の解消が必要となる。
3. 日臨技「臨床検査技師のための認知症対応力向上講習会事業」について（竹浦会長）
 - ・標記講習会に係る講習会Aへ大阪府から派遣する認定認知症領域検査技師の代表者を是枝 真由美氏（帝塚山リハビリテーション病院）に決定し依頼することとした。また、北林 祥代氏（帝塚山病院）、大井 茂昭氏（済生会中津病院）の2名にも協力をお願いする。
4. 日臨技からの病棟業務実施施設調査依頼について（竹浦会長）
 - ・候補施設として、近畿大学医学部附属病院と三島救命救急センターが挙げたが、病棟業務推進施設連絡協議会の加盟施設を確認後、決定することとした。
5. 賛助会員施設の臨床検査技師の取り扱いについて（酒井常務理事）
 - ・定款第5条及び組織運営規程の第3・9章に沿って、賛助会員施設に所属する臨床検査技師に対し技師会の正会員となるよう働きかけるため、技師会への入会促進依頼状および入会案内を送付することとした。
6. 賛助会員への対応について（酒井常務理事）
 - ・平成29年度の賛助会員継続依頼、大臨技ニュース広告掲載依頼、大臨技会報（Web版）広告掲載依頼を2月13日付で送付することとした。
7. 定時総会に係るスケジュールについて（吉本副会長）
 - ・1月26日に行われた公益法人立入検査時の指導に応じ、総会委任状の発送に際し全議案を網羅した議案書を提示することとした。このための対策として、議案書作成から総会開催までのスケジュールについて説明があり、承認された。
8. 第66回日本医学検査学会からのアンケート調査依頼について（吉本副会長）
 - ・第66回日本医学検査学会において「女性技師の活躍」をテーマとしたシンポジウムを開催するにあたり、女性技師のキャリアアップ・スキルアップに関するアンケート調査依頼があり、竹浦会長、久保田理事、安保理事に回答をお願いすることとした。
9. 衛生検査所精度管理専門委員の推薦について（竹浦会長）
 - ・東大阪市より平成29年度衛生検査所精度管理専門委員の推薦依頼があり、山西 八郎氏（天理医療大学）、上田 一仁氏（市立芦屋病院）、池本 敏行氏（大阪医科大学附属病院）に継続をお願いすることとした。
 - ・堺市衛生検査所精度管理専門委員については、増田 詩織氏（近畿大学医学部附属病院）、安保 浩二氏（大阪市立大学医学部附属病院）を推薦することとした。
10. 大臨技ニュース掲載申請（緊急検査部会）について（竹浦会長）
 - ・「第38回緊急検査研究会」の後援申請及び大臨技ニュース掲載依頼について承認された。
11. 後援依頼について（吉本副会長）

- ・「子宮頸がん検診受診啓発活動（LOVE49）」の後援申請依頼について承認された。
- ・「第12回睡眠呼吸器障害研究会」の後援申請依頼について承認された。
- ・「近畿心血管治療ジョイントライブ2017（KCJL2017）」の後援申請及び大臨技ホームページへの掲載依頼について承認された。

12. 基本財産の取り崩しについて（柴監事）

- ・基本財産 5,000 千円を取崩し流動資産とすることについて当理事会で承認され、定時総会に議案として上程することとした。次年度からの運用となる。

13. その他

特になし。

以上